

創立71周年

令和3年度 3月号



# 咲かせよう大正の花

# つなげよう大正の未来

台東区立大正幼稚園

HP: <https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1380011>



## 希望の春

園長 北村 恵

今年は、雪が降ることも多い寒い2月でした。けれども、このところ昼間は暖かく、園庭で過ごすことが気持ちのいい日が多くなりました。子供たちも、自然と外に出て遊ぶことが増えています。春の訪れがすぐそこまで来ている気がします。

3月の登園日数は、今年度は13日です。この時期になると思いだすのが、一昨年2月の末のことです。同じように園だよりで3月の登園日数を数え、「ぞう組さんとの残り少ない日々を大切に過ごしたい」と書いたにも関わらず、突然の休園が決まったことは本当に衝撃でした。テレビの報道を見たあと、先生たちと夜遅くまで休園の準備をしたり、修了式についての対応策を相談したりしました。あれから少しずつ日常を取り戻してきてはいますが、今回のオミクロン株の感染急拡大で、急遽、生活発表会の日程を変更したり行事内容を変更したりすることになりました。学級閉鎖や午前保育などの対応も取らせていただきました。

しかし、そんな大人側の混乱に関係なく、子供たちは嬉しくなるほど伸び伸びと成長しています。

5歳児ぞう組は、もうすぐ小学生になるという自信と希望に満ち溢れています。生活発表会の合奏では、自分の演奏するところだけでなく、欠席していた友達の楽器の演奏箇所も覚えて教えてあげていたり、ランチルームまで友達と力を合わせて何往復も楽器を運んだりする姿には頼もしさを感じます。生活や遊びの中で、担任の援助もほとんど必要なくなり、安心して傍で見守ることができます。毎年思うことではありますが、こんなに立派になったぞう組を小学校に送り出せることが嬉しくもあり寂しくもあります。

4歳児ぱんだ組の今の合言葉は「かっこいいぞう組になる！」です。初めての誕生会の司会の練習をしている時に「恥ずかしいよ～」という友達に「かっこいいぞう組になるんだから頑張ろう！」と声をかける姿が見られました。ぞう組の姿にあこがれ、あんな風に自分たちもかっこよくなりたい、いろいろなことができるようになりたい、と思っているのです。4月から、きっと頑張る年長児になってくれることでしょう。

3歳児うさぎ組の子供たちは言葉がたくさん増えました。教師の方がいつの間にかこんな言葉も使えるようになったの？と驚くほどです。遊びも、次々と自分たちで考えて物を運んだり場を作ったりして、一緒にいる友達とおしゃべりも楽しんでます。時には喧嘩もしますが、それも大切な経験です。

子供たちのこんな成長の姿を見ることができると、私たちの悩みも苦勞もどこかに飛んでいく気がします。進級・進学に向けてウキウキワクワクしている子供たちに幸せを分けてもらい、「今の困難もいつか思い出に変わる。さあ、明日も頑張ろう！」と、私たち大人も希望を新たにしています。3月の残り少ない日々を職員一同、子供たちに負けない笑顔で毎日過ごしていきたいと思えます。

最後に、今年度の園の教育に対する、保護者・地域の皆様方のご支援、ご理解、ご協力に御礼申し上げますと共に、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。